

ZEHデベロッパー登録票

法人名	株式会社大林組
ホームページ	https://www.obayashi.co.jp/sustainability/environment/action.html#section1

登録種別	主な許可証
D登録 (マンションデベロッパー等)	宅地建物取引業免許 一般建設業許可証 特定建設業許可証
C登録 (建築請負会社等)	

C登録における対応可能エリアと規模

地域	都道府県								規模
北海道	北海道								規模を問わず対応可能
東北	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島			
関東	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川		
北陸	新潟	富山	石川	福井					
中部	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知				
近畿	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山		
中国	鳥取	島根	岡山	広島	山口				
四国	徳島	香川	愛媛	高知					
九州	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島		
沖縄	沖縄								

ZEH-Mの普及に向けた取組計画（2030年までの中長期計画）

大林グループでは、新たな温室効果ガス排出削減目標（2030年度目標）（※）を設定し、本削減目標をもって、パリ協定に整合した温室効果ガス排出削減目標であるSBT（Science Based Targets）（※1）にコミットし、2022年10月に認定を取得しました。

本目標の中で、事業者自らによる温室効果ガスの直接排出の削減（Scope1）、他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出の削減（Scope2）、といった自社の事業活動から排出するCO2の削減だけでなく、事業者の活動に関連する他社の排出の削減（Scope3）として、お客様に引き渡した建築物の運用時に排出されるCO2の削減にも取り組みます。建物の用途や特性に応じて、最新の省エネ技術とノウハウによりお客様に最適なZEB・ZEH-Mをご提案していきます。

※2030年度温室効果ガス排出削減目標 Scope1+Scope2 △46.2%（2019年度比）、Scope3 △27.5%（2019年度比）

Scope1：●バイオディーゼル燃料（BDF）など軽油代替燃料の導入 ●ICT省力化施工の推進による使用燃料の低減 ●省エネ工法や省燃費建機、建機の電動化などの開発・実用化 ●100%BDF、水素などの次世代燃料への転換

Scope2：●再生可能エネルギーへの転換（建設現場、オフィス、開発不動産等）

Scope3：●ZEB・ZEH-Mの推進・拡大 ●低炭素資材の開発・実用化（木造・木質化建築の推進など）

ZEH-M導入実績（C登録の場合は建築実績）

No.	建築物の名称	役割	都道府県	延床面積	階数	住戸数	竣工年月	一次エネルギー削減率		ZEH-Mランク	BELS証の取得有無
								創エネ含まず	創エネ含む		
1											
2											
3											
4											
5											

その他のZEH-M導入実績件数… 0 件

ZEH-M導入計画（C登録の場合は受注計画）

No.	建築物の名称	役割	都道府県	延床面積	階数	住戸数	竣工年月	一次エネルギー削減率		ZEH-Mランク
								創エネ含まず	創エネ含む	
1	(仮称) Fプロジェクト	C	大阪府	60,000 m ²	41階	600戸	2026年11月	20.0 %		ZEH-M Oriented
2										
3										
4										
5										

その他のZEH-M導入計画件数… 0 件

C登録におけるZ E H - M相談の代表窓口

部署名等	本社設計本部建築法制部
電話番号	03-5769-1719
窓口を設置しているURL	https://www.obayashi.co.jp/

その他のZ E H - M相談窓口

	支社・グループ会社・部署名等	電話番号	窓口を設置しているURL
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			